

第2学年〇組 学級活動（1）指導案

日 時 令和5年〇月〇日（〇）第〇校時

場 所 2年〇組教室

授業者 〇〇 〇〇

- 1 議題 「修学旅行大作戦～みんなの思い出に残る修学旅行にしよう～」
（ア 学級や学校における生活上の諸問題の解決）

2 議題について

（1）生徒の実態

学級目標である「皆で協力、ずるせず努力、失敗を恐れない、まだまだやれる2年〇組」を学校生活の様々な場面で意識し、日々の活動に取り組んでいる。何事にも意欲的に取り組む生徒が多く、委員会活動や係活動などにも、学級の仲間と助け合いながら協力していく様子が見られる。また、話し合い活動については4月から年間指導計画に基づき実施し、意見を述べやすい雰囲気づくりや仲間に意見を伝え合う活動に力を入れている。その結果、自分から意見を学級全体に伝えることが少しずつできるようになってきているが、まだ自信を持って自分の意見を伝えることが苦手な生徒が多い。1学期の学級会では意見は出るものの、一部の生徒の意見によって話し合いが進み、議論が深まりきらないこともあった。そこで、自分の意見を明確にするために、事前に学級会ノートだけでなく、Google Forms を使って考えを表現する時間を確保した。これにより、自分の考えを表現できる生徒が増えてきている。また、自分の考えを持っているもの学級全体で自分の意見を伝えることができなかった生徒も、小グループでの話し合いでは意見を出したり、学級全体での決定の際には頷いたりと思いを様々な形で表現している様子が見られた。

（2）議題選定の理由

先日学級で行った修学旅行アンケートでは、学級の全員が修学旅行が楽しみだと答えた。また、「一生に一度の中学校での修学旅行をよりよいものにしたい」「中学校生活で一番の思い出となるように楽しみたい」など、修学旅行という学校行事を自分たちの手でさらによりよいものにしたいという気持ちがある。さらに、「学級の一体感や感動を味わえることをしてみたい」「修学旅行を通して今まであまり関わりがなかった友達とも思い出に残る楽しい時間を作り、残りの中学校生活もみんなと楽しく過ごしていきたい」など、コミュニケーション能力の向上や達成感、感動を求めている生徒の実態が分かった。本時の活動を通して、学級全員の思い出に残る修学旅行にすることで、学級の団結力や絆を今まで以上に強くしたいという生徒の思いにより、本議題は選定された。

3 学級活動の評価規準

よりよい生活を築くための 知識・技能	集団や社会の形成者としての 思考・判断・表現	主体的に生活や人間関係を よりよくしようとする態度
学級や学校の生活上の諸問題を話し合っ解決することや他社と共同して取り組むこの都の大切さを理解している。 合意形成の手順や活動の方法を身に付けている。	学級や学校の生活をよりよくするための課題を見いだしている。 課題解決に向け、話し合い、多様な意見を生かして合意形成を図り、協働して実践している。	学級や学校における人間関係を形成し、見通しをもったり振り返ったりしながら、他者と協働して日常生活の向上を図ろうとしている。

4 事前の活動

日時 活動の場	生徒の活動 ○学級活動委員の活動 ●全員の活動	指導上の留意点	◎目指す生徒の姿 【観点】(評価方法)
○月○日(○) 放課後	○議題の選定・決定 ○提案理由の検討	・提案者の思いが伝わるような提案理由となるよう支援する。	◎よりよい学級生活を目指し、進んで議題を考えたり決めたりしている。 【態】(観察)
○月○日(○) 昼休み	○活動計画を立てる。 (めあて、話し合うこと、役割分担等)	・これまでの学級会を通して経験してきたことを生かし、めあてや話し合うことを設定できるよう助言する。	◎学級活動委員の役割や修学旅行の成功に向けた取組を決めるための話し合いの進行の仕方等を理解している。【知】(観察)
○月○日(○) 帰りの会	○議題や話し合う内容を学級に伝える。 ●Googleフォームに自分の考えを入力する。	・一人ひとりが自分の意見を持てるよう支援する。	◎議題に関心を持ち、進んで自分の考えをまとめている。【態】(Googleフォーム、学級会ノート)
○月○日(○) 放課後	○Googleフォームの内容を確認し、事前に意見を分類しておく。	・話し合いが円滑に進められるように、2～3つの分類に分けられるように助言する。	
○月○日(○) 帰りの会 放課後	○短冊の作成 ●学級会ノートに自分の考えを記入する。	・提案理由に沿った意見を書くことができるよう助言する。	
○月○日(○) 昼休み	○学級会の流れを再確認する。	・学級会で起きるであろうことなどを想定し、助言する。	◎話し合いに必要なことや役割を理解している。【知】(観察)

5 本時の展開

(1) 本時のねらい

よりよい修学旅行にするために、自分の意見を学級全体に伝えるとともに、学級の仲間の考えも生かし合いながら、修学旅行に向けて学級で行う取組を考えることができるようにする。

(2) 指導計画

	学習活動	指導上の留意点	◎目指す生徒の姿 【観点】(評価方法)
活動の開始 5分	1 開会の言葉	<ul style="list-style-type: none"> ・修学旅行の成功に向けた意欲的な話し合いを促すことができるようにする。 ・個人のめあてをしっかりと言えるように、事前指導を行う。 	
	2 学級活動委員の紹介		
	3 議題の確認	修学旅行大作戦～みんなの思い出に残る修学旅行にしよう～	
	4 提案理由の説明	<ul style="list-style-type: none"> ・提案者の思いを学級全体で共有できるよう支援する。 	
	<p>修学旅行アンケートで、修学旅行を楽しみにしている人がクラスで多くいることがわかり、「一生に一度の中学校での修学旅行をよりよいものにしたい」、「中学校生活で一番の思い出となるように楽しみたい」という声が多く出ていました。</p> <p>そこで、○組全員で計画を立て、実践することを通してクラスの一体感を高め、修学旅行をみんなの最高の思い出の一つとして心に残る時間にしたい、そして修学旅行以降の学校生活もより一層楽しく充実させたいと思い、提案しました。</p>		
	5 決まっていることの確認		
	6 話し合いのめあての確認	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の意見を持ち、積極的に話し合いに参加できるようにめあての確認をする。 	
7 教師の話①	<ul style="list-style-type: none"> ・提案理由を正しく捉えられるように補足説明を行うとともに、話し合いのルールやマナーについて確認する。 		
活動の展開 35分	8 話し合い 話し合うこと① 「何をするか」	<ul style="list-style-type: none"> ・事前の打ち合わせを行い、円滑に進行できるようにする。 ・話し合い活動は、「出し合う」→「比べ合う」→「まとめる」の順で行う。 ・事前に意見を考え、全員が自分の考えをもてるよう支援する。 ・話し合いのルールを逸脱した場合、指導をする。 ・賛成、反対意見の理由を具体的に言えるようにする。 ・話し合いが滞ったら、グループで話し合う時間を確保し、活発に進むようにする。 ・意見が出にくい場合は出やすくなるよう、司会に助言する。 	◎理由を踏まえ、根拠を明確にして自分の考えを伝えている。【思】(学級会ノート)
	話し合うこと② 「どんな工夫をするか」		◎話し合いのめあてや活動内容について合意形成を図るため、建設的な意見を発表している。
	話し合うこと③ 「役割分担決め」		【思】(観察)

活動のまとめ 10分	9 決まったことの確認		
	10 振り返り	<ul style="list-style-type: none"> ・学級会ノートに振り返りを記入する際には、自分や仲間の考え、発表内容のよかった部分を中心に記入ができるよう支援を行う。 ・生徒が記入している間は机間指導を行う。 	
	11 教師の話②	<ul style="list-style-type: none"> ・教師の話は「今日のよかったところ」と「次回の課題」、「学級活動委員へのねぎらい」とする。 	
	12 閉会の言葉		

6 事後の活動

日時	生徒の活動	指導上の留意点	目指す生徒の姿 【観点】(評価方法)
○月○日(○)	・決まったことを教室後方に掲示する。	・誰もが見やすい掲示となるように助言する。	◎目標を意識し、友達と協力しながら実践に取り組んでいる。 【思】(観察)
○月○日(○) ～○月○日(○)	・役割分担ごとに打ち合わせ、準備を行う。	・学級全体が思い出に残る修学旅行になるよう役割分担ごとに協力して準備を進めるよう助言する。	
○月○日(○)	・役割分担ごとに取組の最終確認をする。	・取組の結果が表れているかを確認する。	
○月○日(○) ～○日(○)	・修学旅行		
○月○日(○)	・修学旅行の振り返り	・本時で決まった取組の実践がどのように影響したか振り返らせる。	

7 備考 生徒数 男子○名 女子○名 計○名